内海曳船株式会社
NAIKAI TUG BOAT SERVICE CO.,LTD

［会社概要］

本社所在地	〒650-0024　神戸市中央区海岸通１丁目１番１号　神戸郵船ビル２階
設　　立	１９６１年６月
資　本　金	９７，５４５千円
代　表　者	代表取締役社長　髙橋　敦
事業所・出張所	東京・堺・小松島・水島・尾道・広島・徳山・宇部・松山・大分
従業員数	１７６名　（陸上　５１名、　海上　１２５名）
運航船舶隻数	曳船　２２隻、　進路警戒船　２　隻
事業内容	曳船事業・警戒船事業・進路警戒事業 他
株　　主	日本郵船株式会社
関連会社	内海シッピング株式会社（船舶代理店）　北条総合開発株式会社（「北条カントリー倶楽部」運営）　㈲八栄海事　他
ホームページ	http://www.naikaitug.co.jp/

［会社沿革］

１９６１年６月	愛媛県松山市にて創業。曳船第二熱田丸を購入
１９６７年２月	本社を松山市から神戸市に移転
１９９５年４月	本社機構を再度松山市に移転
２００８年３月	日本郵船株式会社資本 100%のグループ会社となる
２０１２年 10 月	本社機構を神戸市に戻す

［事業概要］

◇　曳船事業について

東は堺泉北・橘湾、西は大分の瀬戸内海各港湾にてハーバータグとして大型船の安全な入出港支援作業に従事しています。また、尾道地区のドック作業等、多彩な作業をカバーしており、曳船の常駐基地は１１か所に及びます。

◇　警戒船事業について

瀬戸内一円の特にコンビナート港にて大型船の荷役警戒のため消防曳船を配備しています。また、松山港と水島港では海上災害防止センターから業務の委託を受けています。

◇　進路警戒事業

ＬＮＧタンカーの入出港、大型船の特定航路の通峡等で高速進路警戒船や高速曳船を配備し進路・速報警戒業務に従事しています。

液化ガスターミナル・
ＬＰＧタンカー入港作業

備讃瀬戸航路における進路警戒作業

［安全に関する取り組み］

内海曳船株式会社は、1961 年の創業以来一貫して海上交通の「安全」を提供する事を通じて社会に貢献し、社業を発展させてきました。今後も「安全」の提供は当社の使命です。
その基本となるのが自社船舶の安全運航、全社員の安全と健康であり、その維持・改善にはあらゆる努力を惜しまないことを基本理念としています。

安全を願う心と心ー信頼の絆

主な取り組み

◇「安全第一」に配慮した作業環境の整備

◇「健康第一」に配慮した職場環境の整備

◇規則等の遵守

◇組織・制度の整備

◇安全衛生委員会の実施（年 2 回）

イイノガストランスポート株式会社
IINO GAS TRANSPORT CO.,LTD

［会社概要］

本社所在地	〒650-0031　神戸市中央区東町１２３番地１　貿易ビル４階
設　　立	２００１年１０月１７日　（２００７年４月１日より現社名に変更）
資　本　金	９９百万円
代　表　者	代表取締役社長　佐　藤　　仁
事業所・出張所	東京支店　徳山出張所
従業員数	２１７名　（陸上　１１名、　海上　２０６名）
運航船舶隻数	２８隻　６１，９１３重量トン　６６，４３２㎥　(2016 年 3 月末)
事業内容	海運業
株　　主	飯野海運株式会社
主要取引先	アストモスエネルギー、出光興産、東ソー物流、日本ゼオン、三井物産 三菱商事　（五十音順）
ホームページ	http://www.iino.co.jp/igt/

［会社沿革］

２００１年６月	前身である光マリン株式会社が日本リーファース株式会社を統合
２００７年４月	光マリン株式会社と近海石油液化ガス株式会社の２社と飯野海運株式会社営業第２グループを統合し社名をイイノガストランスポート株式会社を発足
２００７年７月	光洋汽船株式会社を吸収

［事業概要］

イイノガストランスポート株式会社は、飯野海運グループにおいて小型ガスタンカーを中心とした内航・近海海運業を担当しています。

発足以来、船舶の所有・管理・船員配乗から営業までを一貫して行う体制をいち早く整えた内航・近海海運業のリーディングカンパニーとして、業界を取巻く厳しい環境変化に対応しています。

当社は燃料系ガスに比べ､石油化学系ガスの輸送比率が高いことが特徴となっています。また、燃料系ガスではＬＰＧに加えＬＮＧ(液化天然ガス)輸送船も運航しています。これらの多種多様な貨物を輸送するため、それぞれの貨物の特性にあわせた船種・船型の船隊を有し、内航及び近海の液化ガス輸送において、総合的なサービスを提供しています。

ＬＰＧタンカー　徳邦丸

ＬＮＧタンカー　Ｎ．ＰＩＯＮＥＥＲ

［安全に関する取り組み］

当社が目指すものは安全運航と人材教育です。問題とされる内航船員と内航船の高齢化を認識した上で、安全対策に全力を挙げ、最適な人員構成を可能にすべくチャレンジを続けています。従来型の管理ではなく、「ＩＧＴ」にしか出来ないこと、「ＩＧＴ」だから出来ることを前面に出し同業他社と違うサービスを提供しています。内航海運の船員不足問題は深刻ですが、この荒波に怯むことなく、船員教育を中心とした変革を進めています。

日本・アジアを結ぶ海上ネットワーク

主な取り組み

◇休暇中の船員に対する研修会（年２回）、安全集会（年１回）の実施。他にも船機長には 乗船前研修を毎回実施しています。

◇船員の技量向上のための諸講習の実施、社外研修への参加。資格の取得、個人の技量の向上を目指し様々な研修を行っています。

◇ヒューマンエラー研修、危険予知トレーニング、ＢＲＭ研修なども実施しています。

中国支部

瀬戸内海汽船株式会社

【会社概要】

本　　社　　〒７３４－８５１５　広島市南区宇品海岸１－１３－１３
TEL　(082) 255-3342　　FAX　(082) 505-0134
ホームページアドレス　http：//www.setonaikaikisen.co.jp/

設　　立　　昭和 20 年 6 月 11 日

資　本　金　　１億円

従業員数　　海上３５名　陸上２７名

代表取締役社長　仁田一郎

事業内容　　一般定期航路旅客輸送事業

運航航路　　広島・呉～松山

運航船舶　　クルーズフェリー　　石手川、四万十川
スーパージェット　　道後 、宮島

安全方針　　・安全最優先　　・法令遵守　　・安全管理体制の維持、改善

【会社沿革】

昭和 15 年　　江田島・西能美島・倉橋島・呉市・広島市・四国の一部航路を統合するために、江田島汽船㈱ほか６社が合併し、『広島湾汽船㈱』を設立。

昭和 17 年　　１県１社の戦時統合指示によって、９社１８者による資本統合が行われ、『広島県汽船㈱』を設立。

昭和 20 年　　西瀬戸内海の航路事業者 7 社が統合し、『西部瀬戸内海旅客船統合会社』を経て、『瀬戸内海汽船㈱』を設立。

昭和 26 年 12 月　宇品～三津浜航路　第 11 東予丸　就航

昭和 34 年 10 月　尾道～今治航路　しろがね（362ｔ）　就航

昭和 38 年 12 月　徳山～別府航路　水中翼船しぶき（75ｔ）　就航

昭和 39 年　3 月　宇品～三津浜航路　シーパレス（435ｔ）　就航

昭和 41 年　8 月　宇品～高浜航路　水中翼船こだま（74ｔ）　就航

昭和 43 年　7 月　宇品～三津浜航路　フェリーひろしま（477ｔ）　就航

昭和 44 年 11 月　宇品～三津浜航路　フェリー面河（685ｔ）　就航

昭和 45 年　3 月　宇品～高浜航路　水中翼船おおとり 2 号（133ｔ）　就航

昭和 47 年　3 月　宮島～瀬戸田航路　クルーズコース STS ライン運航開始

昭和 54 年　4 月　広島湾クルーズ船　南十字星（166ｔ）　就航

昭和 59 年　4 月　広島湾クルーズ船　銀河（575ｔ）　就航

昭和 62 年　4 月　宇品～三津浜航路　フェリー石手川（699ｔ）　就航

平成 3 年　7 月　宇品～三津浜航路　フェリー　四万十川（699ｔ）　就航
平成 5 年　5 月　宇品～高浜浜航路　スーパージェット　道後（189ｔ）　就航
平成 6 年　4 月　宇品～高浜浜航路　スーパージェット　宮島（190ｔ）　就航

【船内労働安全衛生対策への試み】

１．安全対策委員会を毎月１回開催（グループ会社４社）
２．安全統括管理者及び運航管理者が適宜訪船し安全衛生等に関し話し合っている。
３．各船の乗組員に対し毎日アルコールチェックを実施し記録させている。
４．労災事故等の発生時は事故概要を収集し、安全対策委員会に報告、対策等を講じるとともに、議事概要を作成して現場にフィードバックしている。
５．各船から随時ヒヤリ・ハット及び気づき情報を収集し、安全対策委員会に報告、対策等を講じるとともに、議事概要を作成して現場にフィードバックしている。また、ヒヤリ・ハット及び気づき情報を取りまとめ参考資料を作成している。
６．地域船員災害防止協会等が実施する安全衛生講習会に乗組員を参加させている。

【業務内容】

当社は、広島・呉から松山への定期航路事業をクルーズフェリーと高速船スーパージェットで行っています。

また、グループ会社により広島から宮島、江田島への定期航路事業および広島湾のクルーズ船も運航しています。

安全最優先をモットーに、瀬戸内海の便利な海上交通に努めています。

クルーズフェリー

スーパージェット

中国支部

たをの海運株式会社

ＴＡＯＮＯ　ＫＡＩＵＮ　ＣＯ．，ＬＴＤ

【会社概要】

本　　社　　〒７３４－００１１　広島市南区宇品海岸２－１５－１７

創　　業　　明治４０年

設　　立　　昭和２８年１月

資本金　　１０，０００千円

代表者　　坪野　治次

従業員数　　５０名　陸上６名　海上４４名

運航船舶　　ＰＣＣ・セメント専用船・ＲＯＲＯ　３隻

事業内容　　内航運送業・内航運送取扱業・内航船舶貸渡業

【会社沿革】

明治４０年　「たをの回漕店」を創業

昭和２０年　戦後「たをの海運商会」として事業継承、機帆船での一般貨物輸送開始

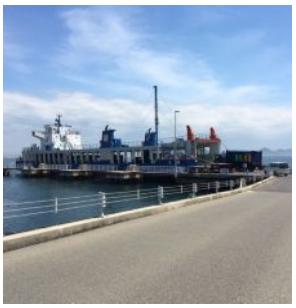
昭和２８年　「たをの海運株式会社」を設立～現在に至る

【事業概要】

当社はお客様に最適な海上輸送サービスを提供すること、すなわち安全で確実、そして地球環境にやさしいサービスを追求しております。昭和２８年、商号を「たをの海運株式会社」に改め、爾来、車両・セメント・鋼材・内航コンテナなど多岐に亘る内航海上輸送に従事しております。

【安全への取り組み】

海上輸送は海に囲まれた我が国の産業と人々の快適な暮らしに欠くことのできない輸送手段です。お客様の大切な貨物を「より安全に」輸送し続ける為、当社では基本方針として「船舶を安全に運航し、海上における人・船・貨物を守り、地球環境を保護する」を基本方針に定め行動しています。



【主な取り組み】

・各種関係法令及び諸規則の遵守

・月１回の船内安全衛生委員会の開催

・BRM 研修・危険予知トレーニング・ヒヤリハット啓蒙活動